いじめ早期発見のための気づきリスト

『いじめ早期発見のための気づきリスト』は、いじめの兆候を早期発見できるように学級集団をチェックするためのものです。日常の業務においてご活用いただき、気づきリストの項目にあてはまる子どもがいる場合には、その子どもの様子を慎重に観察してください。

※この気づきリストは参考例です。児童生徒の実態に応じて、工夫して活用ください。

【対象児童生徒氏名　　　　　　　 　　　　　　】

【記入日　 　　　　年　　　月　　　日（　　）】

**いじめられている児童生徒**

　□わざとらしくはしゃいだり、おどけたりする。

□絶えず周りの顔色をうかがっている。

　□周りの様子を気にし、おどおどしている。

□友だちに悪口を言われても言い返さなかったり、愛想笑いをしたりする。

　□何事に対しても集中力がなく、ぼんやりとしていることが多い。

　□表情がさえず、ふさぎ込んで、元気がない。

　□感情の起伏が激しい。

　□他の児童生徒から言葉がけを全くされていない。

□いつもみんなの行動を気にし、目立たないようにしている。

　□遅刻、欠席、早退が多くなる。

　□登校後、身体の不調を訴えることが増える。

　□教師から視線をそらし、合わそうとしない。

　□早退や一人で下校することが増える。

　□自分の持ち物（靴、教科書等）が無くなったり、作品や掲示物が壊されたり、机やいすが傷つけられたり、落書きされていたりする。

□理由もなく成績が突然下がる。

　□部活動を休むことが多くなったり、やめると言い出したりする。

　□シャツやズボンが汚れていたり、ボタンが取れていたり、ポケットが破けたりして

　　いる。

　□手や足にすり傷やあざがある。

　□けがの理由を曖昧にする。

　□必要以上のお金を持ち、友だちと金品のやりとりをする。

　□不安げに携帯電話をいじり、メールの着信やインターネット上の書き込み等をチェ

ックしたりしている。

□些細なことで友だちから冷やかされたり、からかわれたりすることが多い。

　□グループ編成の時に一人になることが多い。

□他の児童生徒との机の間隔が他よりも広い。

　□学習意欲が低下したり、忘れ物が増えたりする。

　□教職員がほめると冷やかされたり、陰口を言われたりする。

□職員室や保健室付近でうろうろしている。

　□本人が不快に思う呼び方で呼ばれている。

　□他の人の持ち物を持たされたり、使い走りをさせられたりする。

　□つきあう友だちが急に代わったり、教師が友だちのことを聞くのを嫌がる。

　□特定のグループと常に行動を共にしている。

□休み時間に一人で過ごすことが多い。

□遊びの中で、嫌な役割を担わされていることが多い。

□教室へいつも遅れて入ってくる。

□給食時に配膳すると嫌がられる。

　□給食時に意図的な配り忘れや不平等な配膳をされる。

□他の児童生徒の机から机を少し離して給食を食べている。

　□給食を笑顔なく静かに食べている。

　□食べ物にいたずらをされる。

　□みんなと離れて、一人だけで清掃している。

□清掃時にみんなが嫌がる仕事をしている。

　□清掃時に特定の児童生徒の机だけが運ばれずに放置されている。

**いじめている児童生徒**

□クラス内で、内緒話をする姿が多く見られるようになってきた。

□グループでまとまり、特定の児童生徒を仲間に入れようとしない雰囲気がある。

□グループで行動し、他の児童生徒に指示を出す。

□他の児童生徒との会話において、命令的なきつい話し方をする。

□他の子児童生徒に対して威嚇する表情をする。

□他の児童生徒に軽くぶつかったり、遊ぶふりをして叩いたり、蹴ったりする。

　□教職員によって態度をかえる。

　□教職員の指導を素直に受け取れない。

　□教職員との関わりを避けようとする。